

明高祭・NHK杯、そして次へ！！・・・放送部の挑戦は続く・・・

6月・・・これで力尽きてはいけない！明高祭！3年生にとっては最後の文化祭、頑張る気持ちは理解できる。でも、翌日にNHK杯の準決勝、翌々日に決勝が控えている・・・もちろん“全国”がかかる大切な大会・・・。当然、3年生にとっては最後の大会・・・。「どちらかを選べ」などあまりに過酷・・・。何よりあまりにタイトな日程・・・この状況をどのように打開するか、過去にも「明高祭で頑張りすぎて声が出ません」状態で“全国”がフイになったことも何度か・・・まさに放送部にとっては死活問題。とりあえず、明高祭(文化祭)です・・・



演劇音響席をチェンジしました。



一人ひとりが楽しめる時間です・・・大切にしたいものです・・・

お知らせ

例年、実施しておりました「中継
講堂からのライブ中継」は、諸般の
事情により、今回は休止します。
ご了承ください。

放送部

恒例の中継は休止しました。とても余裕がありません。

誤解がありそうなので改めて・・・文化祭のために放送部があるのではありません。放送部は部活動ですから、文化祭に協力させていただいているというスタンスです。翌日に県大会を控える中で協力させていただいています。地区大会を抜けるだけでも大変、やっと抜けたと思ったら練習もままならず、疲労困憊のなかで県大会・・・でも、これもまた青春！！



とにかく準決勝まで来た！できることをやろう！ガンバロー！



準決勝受付、これができる放送部員もごくわずか、名誉なこと。



準決勝朗読部門、決勝を目指して！



決勝の日、昨日の結果は・・・

県大会の結果、朗読部門については、僅差ながら決勝進出を逃し、“全国への夢”は来年に持ち越しとなりました。ちなみに、来年の全国大会は兵庫県で開催です。ぜひ、夢を叶えたいものです。また、研究発表部門は、当日の朝まで制作に取組み、受付ギリギリに間に合わせる事ができ、“奨励賞”を得ることができました。「諦めなければ何とかなる」の見本のようなチャレンジでした。

この時期、明石高校では、模試・部活動の大会・文化祭・時間が制約される中での課題作成と同時並行で大きなことが続きます。生徒もよく身体が持ったと思います。このように書くと「他の学校も同じ」という声がよく聞こえます。本当にそうでしょうか？実際は異なります。そのような学校もあり、そうでない学校もありということが実態です。同じではありません。先入観で物事を判断するのではなく、自分で情報を集めて考える必要があるのではないのでしょうか。

いろいろと考えますが、要は、放送部がより力をつけないといけないということになると思います。これからもより信頼を得るためにも、やるべきことをキッチリとし、できることにはチャレンジし続けていこうと思います。部員にもできることにしっかりと取り組んで欲しいと願っています。そして何より、自分の可能性を広げて欲しいと願っています。“夢”“志”を持って、前向きにチャレンジして欲しい、その先に“全国”があるはずです。

次は、期末考査へ向けて部員一同、頑張ります。気持ち良く部活動をするためにも、しっかりと学習に取り組むことが大前提です。放送部は「欠点保有者＝欠点がなくなるまで活動停止」です。